

令和2年度 第4回白井市市民参加推進会議 次第

日 時 令和3年1月27日(水)

午後2時～午後4時

場 所：市役所東庁舎3階会議室302

次 第

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

(1) 総合的評価における担当課ヒアリングについて

(2) 平成31年度市民参加の実施状況に対する総合的評価について

4 その他

5 閉 会

【資料】

〈資料1〉ヒアリング対象事業 質問及び回答

〈資料2〉答申(案) 総合的評価について

〈資料3〉評価シートまとめ

〈資料4〉令和2年度市民参加推進会議スケジュール

1 第2次まち・ひと・しごと創生総合戦略策定 (企画政策課)

質問事項	回答
<p>①公募委員の増員の検討はあったのか。応募者が高齢者8名をどう考えるか。 吉井委員、小川委員</p>	<p>まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に当たっては、国からの技術的な助言により、産業界・行政機関・大学・金融機関・労働団体（産官学金労※）で構成する組織で審議するなど、広く関係者の意見が反映されるようにすることが重要であるとされています。</p> <p>この助言に基づき、まち・ひと・しごと審議会の委員構成及び定員については、産業界（農商工）・労働団体4名、大学2名、金融機関2名、市民2名の10名としております。</p> <p>定員10名は委員間の活発な議論や委員の意見を反映するために適切な規模であること、委員のうち市内在住・在勤者が7名と市内の関係者の意見を広く聞く上で適切な委員構成であることから、公募委員の増員については検討しておりません。</p> <p>また、公募委員の募集について、広報、HP、情報公開コーナー、各センター、図書館などにおいて周知した結果、40歳代が2名、50歳代が1名、60歳代が2名、70歳代が3名と比較的広い年齢層から応募いただいたものと捉えております。</p> <p>※後にメディア関係者、弁護士が追加され、産官学金労言士となっています。</p>
<p>②ワークショップが開催されているが、各回の参加者が多い時と少ない時がある。この差はなぜでしょうか。 加藤委員</p>	<p>令和元年9月に開催したワークショップについては、広報、HP、情報公開コーナー、各センター、図書館、自治回覧などを通じて広く案内するとともに、児童生徒の保護者、市民団体、商工会や工業団地協議会などに個別の案内を行ったところ です。</p> <p>開催場所によって参加者数の差異がありますが、地域性や市政への関心など様々な側面があることから、その要因を分析することは困難であると考えております。</p>

<p>③アンケート「まちづくりに関する若い世代へのアンケート」について、81件ですが回収件数としてはあまり多くないと思いますが、この点についてアンケートの周知方法、実施方法など問題はなかったでしょうか。</p> <p>加藤委員</p>	<p>まちづくりに関する若い世代へのアンケートについては、市の重点的取組の一つである「子育て世代の定住促進」に向けて、子育て世代のまちづくりに対する意見を把握するために実施したところです。</p> <p>紙媒体でのアンケートでは子育て世代の回答率が低い傾向にあることから、回答を促進するためWEBアンケートを実施することとし、幼稚園・保育園・小中学校に通う児童生徒の保護者に対して、アンケートフォームにアクセスできるQRコードを記載したチラシを配布しました。</p> <p>回答数は81件と少ない結果となりましたが、これはチラシの記載内容からアンケートの意図が伝わりづらかったことが要因の一つと認識しており、これを反省材料として、次のアンケートの際には改善を図っていきたいと考えております。</p>
<p>④転入・転出アンケートが実施された目的とプライバシーの確保の方法</p> <p>竹内委員</p>	<p>転出入者アンケートは、転出入の理由や、きっかけなどを伺うことにより、市の特性、魅力や課題等を把握するために実施したところです。</p> <p>アンケートの実施に当たっては、市民課窓口で転出入の届出をする方に趣旨の説明と用紙の配布を行った上で、手続きの待ち時間に回答し、回収箱に投函していただいていることから、回答者が特定されることはなく、プライバシーは確保されております。</p>
<p>⑤ワークショップには重点的に広報した層の市民や関係者が参加したのかどうか。</p> <p>竹内委員</p>	<p>令和2年1月・2月に実施したワークショップでは、サイレントマジョリティーの意見を把握するため、無作為抽出した市民5,000名に参加案内を行い、138名(約2.8%)の方に申しいただきました(実参加者は98名)。</p> <p>また、幅広い年代の市民に参加いただくため、中学校や白井高校に対して参加依頼をしたところ、21名の生徒に参加いただいたところです。</p> <p>そのほか、正確な数値は把握しておりませんが、参加案内を送付した自治会長や市民団体、市内産業の関係者など多くの方に参加いただいたものと捉えております。</p> <p>さらに、市民協働ファシリテーターとして登録している市民にワークショップのファシリテーターを依頼したところ、6名に就任いただき、これまで地域づくりコーディネート講座等で学んだことを実践していただいたところです。</p>

<p>⑥審議委員の任期が3年間の根拠は。 小川委員</p>	<p>任期については、まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画期間が5年間であること、総合計画審議会など同種の審議会の任期を勘案して3年としています。</p>
<p>⑦パブリックコメントは、市民参加が不調となった理由は何故と考えるか。 小川委員</p>	<p>パブリックコメントについては、広報、HP、情報公開コーナー、各センター、図書館などで周知し、意見を募集したところ、1名から2件の意見があったところです。</p> <p>これは、市民2,500名を対象とした住民意識調査をはじめとする各種アンケート調査やワークショップなどにより、市民の意見を広く聴取した上で、計画案の策定に努めた結果と捉えております。</p>
<p>⑧ニュータウン地区と在来地区、駅中心に考えると3地区に分かれており、生活環境などの違いを考慮した公募委員選定がされたのか？ 寄本委員</p>	<p>公募委員2名については、一般公募と公募委員登録者名簿を1:1の割合で選任しています。</p> <p>一般公募1名の選任に当たっては、市民公募以外の委員(学識経験者、関係機関や団体からの推薦者)が全て男性であることを踏まえ、応募者の中から市政への参画経験や性別のバランスを重視して選任したところです。</p> <p>公募委員登録者名簿1名の選任に当たっては、登録者の中から複数の分野への参加を希望していることと、一般公募との年齢・居住地のバランス等を重視して候補者を抽出し、個々に就任を打診した上で選任したところです。</p>

市民参加推進会議
ヒアリング対象事業 質問及び回答

2 第2期白井市子ども・子育て支援事業計画（子育て支援課）

質問事項	回答
①意見交換会などの直接的な汲み取り方法などは検討されなかったのだろうか。 吉井委員	市内の子育て支援者・団体に対し、意見交換会やインタビュー調査を行いました。また、実際に子育て中の保護者及び児童生徒4824名にアンケート調査を行ったことで、意見をいただけたため、意見交換会などの検討は行いませんでした。
②細かい質問ですが公募委員の募集、パブコメの募集の事前周知方法として、広報とHPだけで十分だったでしょうか。他、各センターや図書館などで周知を考えませんでしたか。 加藤委員	広報しろいが全戸配布となっていることから、市民の皆さんの目には触れていると考えられることから、各センターなどでの周知は考えませんでした。
③第2回会議後に会議を開催せずに素案のパブリックコメントを実施した理由（委員に修正内容を確認するプロセスがあったのかどうか） 竹内委員	1月27日に行った令和元年度第2回会議では、素案の修正に関する意見はなく、原案のとおりで承認されています。
④アンケートを小学校5年生、中学校2年生に限定した理由 竹内委員	子ども自身が設問趣旨を理解して、適切にアンケートに回答できるという観点では高学年ほど良いと考えますが、小学6年や中学3年生は進学や受験を控えているため、比較的落ち着いていると考えられる1学年下の小学5年生と中学2年生を選定したものです。
⑤パブリックコメントについて自己評価しているが何が評価できる点なのか。 小川委員	平成26年度に行った白井市子ども・子育て支援事業計画案のパブリックコメントについては、意見の提出がありませんでした。 今回は5件の意見をいただき、直接的な要因はわかりませんが、アンケートの依頼人数の増加や市内の子育て支援者・団体に対し、意見交換会やインタビュー調査を行い、意見をいただいた結果、計画への関心を少しでも持っていただけたのかと感じています。

<p>⑥審議会の人員 18 名は、多いと思いますが、必要な人数ですか。また、公募委員が少ないと思わないか？ 小川委員</p>	<p>子ども・子育て会議の委員については、国から示されている委員構成を参考に、幅広く意見を聞くため、バランスよく幅広い関係者をお願いすることとされており、定員については、「白井市附属機関条例」に定めております。</p> <p>近隣の状況を確認したところ、子ども子育て会議の委員は15～20名で構成されており、公募委員は1～3名であるため、妥当な人数と考えます。</p>
<p>⑦会議が全て平日であり、35歳以下の委員もいない中で、働いている若い子育て世代の意見を反映出来ていると判断出来たのか？ 寄本委員</p>	<p>未就学児の保護者及び小中学生の保護者にアンケート調査を行い、自由意見の欄も設けていて、762件の意見をいただいていることから、働いている若い子育て世代の意見を伺っていると考えます。</p>

3 西白井地区コミュニティ施設整備事業 (市民活動支援課)

質問事項	回答
<p>①公募委員を増やすことは考えられなかったのか 吉井委員</p>	<p>当該施設は、西白井複合センターの機能の一部を補完するものとした整備方針としていたため、都市マスタープランで定める第4地区（大山口小学校区、清水口小学校区、七次台小学校区）を地域として設定したものです。</p> <p>市内公共施設については、地域ごとに設置されていることから、委員構成は主な利用者とされる上記の地域住民としています。</p> <p>公募委員の数については、多くの委員を関係地域住民としていること、また、市内の公共施設として、全市民が利用することから公募委員を2名設定しました。</p>
<p>②細かい質問ですが、地区説明会の開催にあたり、事前周知の方法として、広報と情報公開コーナーのみでしたが、地元自治会などの組織を通じて説明会の周知を行ったなどあるでしょうか。 加藤委員</p>	<p>回覧については、単年度で基本設計と実施設計を行うスケジュールであり、4月～7月の間にパブリックコメントを終え、8月中に基本設計を完了する必要があったため、時間的猶予がなかったため実施しませんでした。が、周辺地域の自治会長30名に説明会の案内送付を行い、自治会員への周知を依頼しました。</p>
<p>③パブリックコメントについて、一人当たりの質問数が多いのは何故か？ 竹内委員</p>	<p>市民が身近に利用する施設に関することであることから、計画や条例等と比較し意見が出しやすいものであったと考えます。</p> <p>また、施設の設計や各部屋の用途、備品等の細かい部分での意見をいただいているため、一人の意見が多くなっています。</p>
<p>④審議会の開催が定期で行われ、開催期間もコンスタントに開催できたのは何故ですか。 小川委員</p>	<p>事業が本格的に始動した平成29年度からは、国の補助金の関係で平成31年度中に施設を完成させる必要があったため、施設完成予定時期までのスケジュールをあらかじめ組んで実施してきたことから、審議が必要な時期についてもある程度見通していたことが関係すると思います。</p>
<p>⑤審議会の委員、関係地域住民の代表者の選定はどのように実施したのか。 小川委員</p>	<p>西白井複合センターにセンター利用団体から3名。選出していただきました。また、自治連合会に大山口小、清水口小、七次台小の通学地区の代表者各2名、西白井地区の4自治会から各1名の推薦を依頼しました。</p>
<p>⑥審議会の委員は全て任期期間中同一人物なのか 小川委員</p>	<p>任期期間中は同一人物です。当該委員会での審議事項は、年度ごとに定めており、大まかな施設内容、基本設計、実施設計、管理運営方法等と段階的に行ってまいりました。それぞれの検討結果を踏まえた継続的な審議が必要となることから建設完了までを任期としました。</p>

<p>⑦委員の男女比が偏っているのが気になる。 佐々木委員</p>	<p>地域の代表者は各地区からの推薦者、西白井複合センター利用団体の代表者は各団体からの推薦者が委員となっており、これらの委員が委員全体の8割を占めているため、男女比については、委員の選定にあたり考慮できる要素ではありませんが、施設関連の委員会ということもあり、女性の推薦が少なかったのではないかと考えております。</p>
<p>⑧公民館施設の新設との点を考慮すると、公募委員は最大の受益者となる西白井地区から選定すべきだったのではないかと、その他に近隣住民が含まれているので問題ないとされた？ 寄本委員</p>	<p>公募委員の選定については、委員の半数以上を関係地域住民としていること、また、当該施設においては西白井地区に設置されるものであるが、全市民が利用できる公共施設であることから西白井地区からの選定を優先とする要件は定めませんでした。</p> <p>なお、公募委員については、市の公募に関する基準において、応募の動機、市政への参画経験の少なさ等を優先し、選定することを基本として定めています。</p>

答申（案）

総合的評価について

終了事業 平成31年度

1.第2次まち・ひと・しごと創生総合戦略策定

総合評価 82 点

総合コメント

- ①様々な市民参加の手法が取り入れられており、アンケート、ワークショップについては、事前に検討も十分になされたものと思われ、市民参加実施事業として高く評価できる。(加藤+小川)
- ②審議会委員の男女比やパブリックコメントの周知について課題があるが、ワークショップについては周知をしっかりと行うことによって、多くの市民や関係主体の意見を取り入れられるようにしていることは評価できる。(竹内)
- ③各種取り組みがされているが、そのフィードバックが参加者に十分伝わっていないのではないと思われる。市民が積極的に市政への参加をしていくモチベーションを高める努力が必要と考えらえる。(嵯本)

事業における市民参加の評価

評価項目(配点)	実施状況	合計
実施した市民参加の数 5点×実施数(上限15点)	審議会の設置: 令和元年6月6日～令和4年6月5日 パブリックコメントの募集: 令和2年3月10日～令和2年3月25日 アンケート調査の実施: 令和元年6月14日～令和元年7月5日 ワークショップの開催: 令和元年9月21日～令和2年2月1日	15
選択した市民参加の手法 (上限5点)		4
意見の取り扱い・公開方法 (上限5点)		3
市民参加の取り組み・積極性 (上限5点)		4
合計		26

実施した市民参加の評価

審議会の設置(上限20点)

		各項目2点	各項目2点	
評価項目(配点)	実施状況	条例基準	望ましい水準	合計
	任 期:令和元年6月～令和4年6月(3年間) 募集期間:平成31年3月1日～平成31年3月15日(15日間)	/	/	/
1	公募委員の数・全体に占める割合 委員の人数:10人(男8女2) 市民公募委員:2人(うち無作為抽出1名)	7.6	3.8	11
2	選考基準・公募委員の男女比・地域の割合、募集方法 応募者:8人(男6女2) 選出者:1人(男0女1) 選出地域:清水口小学校区1人、池の上小学校区1人 選考基準:公開 応募方法:郵便、ファクシミリ、電子メール、各センター・回収箱、担当課窓口 周知方法:広報しろい、HP、情報公開コーナー、各センター、図書館、担当課窓口			
3	会議の回数・時間帯 会議の回数:4回(全て公開) 時間帯:平日日中			
4	事前周知の方法 HP、情報公開コーナー、図書館、担当課窓口			
5	結果公表・取扱い 公表の方法:情報公開コーナー、HP、図書館、担当課窓口 会議録:逐語訳 公開に要する期間:2か月以内			

コメント

- ①公募委員の割合が低い(20%)(吉井)
- ②ワークショップの結果等を反映する会については、平日の夜や週末にするなど、工夫はできたのではないかと。(竹内)
- ③公募委員選出地域のバランスを考慮することで地域ごとの意識の相違も明確になると考えられる。(寄本)
- ④土日や夜間に会議を開催出来れば女性の比率も上がるのではないかと。(佐々木総合)

パブリックコメント募集(上限20点)		各項目2点	各項目2点	
評価項目(配点)	実施状況とコメント	条例基準	望ましい水準	合計
1 募集期間・提出方法	募集期間: 令和2年3月10日～令和2年3月25日(16日間) 応募方法: 郵便、ファクシミリ、電子メール、各センター、担当課窓口	8	4.1	12
2 提供資料	計画や条例の素案、パブリックコメントの目的・意見の提出方法などを記した案内、意見書			
3 資料の提供場所	担当課窓口、HP、情報公開コーナー、各センター、図書館			
4 事前周知の方法	広報しろい、HP、情報公開コーナー、各センター、図書館、担当課窓口			
5 結果公表・取扱い	公表の方法: 令和2年3月27日 情報公開コーナー、HP、図書館、担当課窓口 意見の件数: 1人から2件			
コメント				
<p>①市民に関わる事柄であるため、募集期間を3週間程度としてもよかったのではないか(竹内)</p> <p>②意見公募を事業終了直前に行っているが、総合戦略(案)修正に組み込みが間に合う時期とする必要があった。(嵯本)</p> <p>③評価基準は満たしているが、募集の方法、周知の方法、提供資料など、検討が必要。(小川)</p> <p>④わかりやすい資料の提供、人を介しての周知などが必要。(小川)</p>				

ワークショップ(上限20点)		各項目2点	各項目2点	
評価項目(配点)	実施状況とコメント	条例基準	望ましい水準	合計
1	開催場所・時間・回数 ①タウンミーティング 開催場所:各センター 回数:6回 ②市民意見交換会 開催場所:各センター 回数:4回			18
2	資料の提供 ①有 ②有			
3	参加者の資格 ①誰でも参加可 ②誰でも参加可			
4	事前周知の方法 ①広報しろい、HP、情報公開コーナー、各センター、図書館、担当課窓口、メール配信 その他の方法: ①小中学の保護者、幼稚園・保育園の保護者、民生委員・児童委員の計7,000人にチラシ配布②商工会・工業団地協議会にチラシ配布③自治回覧④まちサポ登録団体と地区社協にメール案内 ②広報しろい、HP、情報公開コーナー、各センター、図書館、担当課窓口、メール配信 その他の方法: 中学校の保護者約1,900人にチラシ配布②自治回覧③無作為抽出した市民と住民意識調査対象者の計5,000人に参加案内④タウンミーティング出席者、eモニター、白井高校への参加案内	9	8.5	
5	結果公表・取扱い ①結果公表:令和2年7月1日 公表の方法:情報公開コーナー、HP、図書館、広報しろい、担当課窓口 ②結果公表;令和2年7月1日 公表の方法:情報公開コーナー、HP、図書館、広報しろい、担当課窓口			
コメント				
①周知に関して、現状のツールに加え、保護者、商工会、自治会などへ行っており評価できる。(小川) ②市民意見交換会を4回開催したことは妥当である。(野口)				

アンケート調査の実施(上限20点)		各項目2点	各項目2点	
評価項目(配点)	実施状況とコメント	条例基準	望ましい水準	合計
実施したアンケート	①転出入者アンケート調査 ②第14回住民意識調査 ③まちづくりに関する若い世代へのアンケート ④まちづくりに関するeモニターアンケート	/	/	/
1 事前周知の方法	①HP、情報公開コーナー、図書館、担当課窓口 ②広報しろい、HP、情報公開コーナー、図書館、担当課窓口 ③無 ④無	8.1	6.5	15
2 調査方法・調査期間	①176日間 平成31年1月4日～令和元年6月28日 ②22日間 令和元年6月14日～令和元年7月5日 ③36日間 令和元年6月17日～令和元年7月22日 ④10日間 令和元年6月17日～令和元年6月26日			
3 調査対象	①市民課窓口で転入・転出の届け出をする人 ②市内在住の18歳以上の男女2,500人 ③市内幼稚園、保育園、小学校、中学校の児童・生徒の保護者 ④登録しているeモニター			
4 発送件数・回収件数・回収率	①回収件数:518件 ②回収件数:911件 回収率:36.4% ③回収件数:81件 ④回収件数:52件 回収率:45.2%			
5 結果公表・取扱い	①結果公表:令和元年8月19日 公表の方法:情報公開コーナー、HP、図書館、担当課窓口 ②結果公表:令和元年9月30日 公表の方法:広報しろい、情報公開コーナー、HP、図書館、担当課窓口、各センター ③結果公表:令和元年9月2日 公表の方法:情報公開コーナー、HP、図書館、担当課窓口 ④結果公表:令和元年7月22日 公表の方法:情報公開コーナー、HP、図書館、担当課窓口			
コメント				
・調査対象も広く、回収率も高く、市民参加の結果として評価できる。(小川)				

終了事業 平成31年度

2.第2期白井市子ども・子育て支援事業計画策定事業 総合評価 56 点

総合コメント

①全般的に条例基準にも望ましい水準にも達しておらず、市民参加という観点からは大いに改善を要する。(吉井)
 ③3つの手法を使い問題なく市民参加ができたと同えるが全体的に周知が徹底されていないため改善が必要である。(加藤)

事業における市民参加の評価

評価項目(配点)	実施状況	合計
実施した市民参加の数 5点×実施数(上限15点)	審議会の設置:令和2年1月27日～令和5年1月26日 パブリックコメントの募集:令和2年2月15日～令和2月29日 アンケート調査の実施:平成31年1月18日～平成31年1月18日	15
選択した市民参加の手法 (上限5点)		3
意見の取り扱い・公開方法 (上限5点)		3
市民参加の取り組み・積極性 (上限5点)		3
合計		24

実施した市民参加の評価

審議会の設置(上限20点)

		各項目2点	各項目2点	
評価項目(配点)	実施状況	条例基準	望ましい水準	合計
	任期:令和2年1月~令和5年1月(3年間) 募集期間:令和元年9月1日~令和元年9月17日	/	/	/
1	公募委員の数・全体に占める割合 委員の人数:18人(男6女12) 市内公募委員3人(うち無作為抽出1人)	7	2.9	10
2	選考基準・公募委員の男女比・地域の割合、募集方法 応募者:4人(男0女4)、選出者:2人(男0女2) 選出地域:池の上小学校区1人、桜台小学校区1人 選考基準:公開 応募方法:郵便、ファクシミリ、電子メール 周知方法:広報しろい、HP			
3	会議の回数・時間帯 会議の回数:5回(全て公開) 時間帯:平日日中			
4	事前周知の方法 HP、情報公開コーナー			
5	結果公表・取扱い 公表の方法:HP 会議録:逐語訳 公開に要する時間:1か月以内			
コメント				
①事前周知が図書館で行われていない。結果公表が情報公開コーナーで図書館で行われていない。(吉井) ②生活に密接に関わる事業であるにも関わらず公募委員が少ない(16.7%)(竹内) ③働く子育て世代の市民が参加できるよう、土日にする等の配慮が望まれる。(野口)				

パブリックコメント募集(上限20点)		各項目2点	各項目2点	
評価項目(配点)	実施状況とコメント	条例基準	望ましい水準	合計
1 募集期間・提出方法	募集期間: 令和2年2月15日～令和2年2月29日(15日間) 提出方法: 郵便、ファクシミリ、電子メール、各センター、担当課窓口	7.5	2.9	10
2 提供資料	計画や条例の素案、パブリックコメントの目的・意見の提出方法などを記した案内、意見書			
3 資料の提供場所	担当課窓口、HP、情報公開コーナー、各センター、図書館			
4 事前周知の方法	広報しろい、HP			
5 結果公表・取扱い	結果公表: 令和2年4月10日 公表の方法: 情報公開コーナー、HP 意見の件数: 4人から5件			
コメント				
<p>①事前周知が情報公開コーナー及び図書館で行われていない。結果公表が図書館で行われていない。</p> <p>②意見を集める上ではもう少し期間をとった方が良いのではないかと考えられる。(竹内)</p> <p>③ホームページのアクセスが少ない理由は、パブリックコメントの周知だけでなく本事業の周知が不十分であったと思う。(小川)</p> <p>④評価基準は満たしているが、募集の方法、周知の方法、提供資料など、検討を要す。(小川)</p>				

アンケート調査の実施(上限20点)		各項目2点	各項目2点	
評価項目(配点)	実施状況とコメント	条例基準	望ましい水準	合計
1	事前周知の方法	6.6	5.4	12
2	調査方法・調査期間			
3	調査対象			
4	発送件数・回収件数・回収率			
5	結果公表・取扱い			
コメント				
<p>①事前周知がされていない。結果公表が情報公開コーナー及び図書館で行われていない。(吉井)</p> <p>②調査対象を幅広くした点は妥当とし評価できる。(野口)</p>				

終了事業 平成31年度

3.西白井地区コミュニティ施設整備事業

総合評価 64 点

総合コメント			
<p>・地域住民を組み入れた多数回の討議が行われており、住民参加型の典型的な事業と言える。公表方法に若干不足があったが、市民を取り組む取り組みとしては良くなされたと言える。(寿本)</p> <p>・コミュニティ施設建設という、長期事業の為に公募委員の任期も5年と長く設定したため、応募者も非常に少なく、高齢者のみとなっている点、工夫が必要であった。(小川)</p>			
事業における市民参加の評価			
評価項目(配点)	実施状況	合計	
実施した市民参加の数 5点×実施数(上限15点)	審議会の設置:平成26年7月26日～令和元年7月31日 パブリックコメントの募集:平成29年6月8日～平成29年6月21日 その他の方法:住民説明会 平成29年6月10日	15	
選択した市民参加の手法 (上限5点)		4	
意見の取り扱い・公開方法 (上限5点)		3	
市民参加の取り組み・積極性 (上限5点)		3	
		合計	25

実施した市民参加の評価

審議会の設置(上限20点)

		各項目2点	各項目2点	
評価項目(配点)	実施状況	条例基準	望ましい水準	合計
	任 期:平成26年7月～令和元年7月30日 募集期間:平成26年6月1日～平成26年6月13日	/	/	/
1	公募委員の数・全体に占める割合 委員の人数:14人(男11女3) 市民公募委員:2人(うち無作為抽出0人)	8.1	4.5	13
2	選考基準・公募委員の男女比・地域の割合、募集方法 応募者:3人(男3女0) 選出者:2人(男2女0) 選出地域:大山口小学校区1人、南山小学校区1人 選考基準:公開 応募方法:郵便、電子メール、担当課窓口 周知方法:広報しろい、HP、情報公開コーナー、各センター			
3	会議の回数・時間帯 会議の回数:16回 (全て公開) 時間帯:土曜日日中			
4	事前周知の方法 HP、情報公開コーナー			
5	結果公表・取扱い 公表の方法:情報公開コーナー、HP、図書館 会議録:逐語訳 公開に要する期間:2か月以内			
コメント				
①公募委員の割合が低い(吉井) ②委員の男女比が偏っている。(佐々木) ③2.4については条例基準を満たしていない。→当時、周知場所のうち図書館を必須としていませんでしたので訂正いたします。 ④議事録を西白井地区のセンターに置くと多くの市民の目に触れたのではないか。(竹内) ⑤審議会が定期でコンスタントに開催されており評価できる。(小川)				

パブリックコメント募集(上限20点)		各項目2点	各項目2点	
評価項目(配点)	実施状況とコメント	条例基準	望ましい水準	合計
1	募集期間・提出方法 募集期間:平成29年6月8日～平成29年6月21日(14日間) 提出方法:郵便、ファクシミリ、電子メール、各センター・回収箱、担当課窓口	8.4	5.3	14
2	提供資料 計画や条例の素案、計画や条例の概要、パブリックコメントの目的・意見の提出方法などを記した案内、意見書			
3	提供場所 担当課窓口、HP、情報公開コーナー、各センター、図書館、			
4	事前周知の方法 広報しろい、HP、情報公開コーナー			
5	結果公表・取扱い 公表の方法:平成29年6月30日 情報公開コーナー、HP、図書館 意見の件数:4人から28件			
コメント				
<p>①結果公表予定時期が周知されていない。事前周知が図書館で行われていない。(吉井)</p> <p>②パブリックコメントの意見者が少なく、人を介して周知してもらおうなど意見取得の方策の工夫が必要と思われる。(小川)</p> <p>③募集期間が多少短いように思われる。(野口)</p>				

その他の方法(上限20点)		各項目2点	各項目2点	
評価項目(配点)	実施状況とコメント	条例基準	望ましい水準	合計
1 開催場所・時間・回数	西白井地区コミュニティ施設建設に係る地区説明会 開催場所:大山口小学校 時間:平成29年6月10日 10時00分～11時30分 回数:1回	7.3	5	12
2 参加者の資格	対象者の範囲:市民(建設予定地近隣地区に在住の方)			
3 事前周知の方法	広報しろい、HP、情報公開コーナー			
4 結果公表・取扱い	結果公表:公開 HP 会議録:要点訳			
5 市民参加の内容	基本設計策定段階において、施設の建設経緯や事業の進捗状況について確認するとともに、基本設計素案の内容や施設開所後の管理運営方法の方針について、広く共通認識と情報の公開を行うため、西白井駅圏の住民を対象に説明会を実施した。			
コメント				
①事前周知が図書館で行われていない。結果公表が情報公開コーナー及び図書館で行われていない。(吉井) ②説明会の開催周知に、地元自治会等を開催案内など配布しての取り組みなども必要であった。(竹内・小川)				

事業名：1 第2次まち・ひと・しごと創生総合戦略策定

委員氏名								
総合評価点 上限(110点)	◎	97点	○	74点	◎	88点	◎	82点
評価	・全般に市民参加の精神は生かされており、条例基準は概ね満たされていて評価できる。		・少子化、高齢化、人口減少の社会情勢の中で白井市の策定として大いに評価できる事業であるといえた。		・重要な計画だけあり、様々な参加手法が取り入れられていると評価できる。		・審議会における委員の構成（公募市民2名が女性、それ以外が男性）やパブリックコメントの周知について課題があると考えられるが、その分ワークショップの周知方法をしっかり行うことによって、多くの市民や関係主体の意見を取り入れられるようにしていたことが評価できた。	
質問	・公募委員の増員の検討はあったのだろうか。		・多くの女性（独身、主婦、職業のある人問わず）が参画できるよう調べてみてはどうか		・ワークショップが開催されているが、各回の参加者が多い時と少ない時がある。この差はなぜでしょうか。 ・アンケート「まちづくりに関する若い世代へのアンケート」について、81件ですが回収件数としてはあまり多くないと思いますが、この点についてアンケートの周知方法、実施方法など問題はなかったでしょうか。		・公募市民以外の選定方法について（市民参加とは関係ないが、それによって公募市民の男女比が決められたようなところもあると考えられるため教えていただきたい。 ・転入・転出アンケートが実施された目的とプライバシーの確保の方法 ・ワークショップには重点的に広報した層の市民や関係者が参加したのかどうか。	
評価項目	評点		評点		評点		評点	
実施した市民参加の数	15		15		15		15	
選択した市民参加の手法	4		3		3		4	
意見の取り扱い・公開方法	4		2		3		3	
市民参加の取り組み・積極性	4		3		4		4	
審議会の設置	基準	・1.公募委員の割合が低い（20%）のでは。	基準	・まち・ひと・しごと創生戦略策定とあって委員の男性の数が多いたことが同えた。	基準	・審議会に対してコメントは特にありません。	基準	・公募市民以外の委員が全て男性、公募市民が全て女性のため、委員会全体のバランスを考慮すべきであった。（公募市民の発言機会が確保される配慮がなされていたのか気になった。） ・全てを傍聴者が参加しやすい時間帯に設定する必要はないが、ワークショップの結果等を反映する会については、平日の夜や週末にするなどして、工夫はできたのではないか。
	9		6		10		9	
	水準		水準		水準		水準	
	5		5		4		3	
	合計		合計		合計		合計	
	14		11		14		12	
パブリックコメント(意見公募)募集	基準	・各項目ともよく対応されている。	基準	・2件の意見を伺えた。	基準	・パブリックコメントについて特にコメントありません。	基準	・市民に関わる事柄であるため、パブリックコメントの募集期間を3週間程度としてもよかったのではないか。※評価シートにパブリックコメントの周知期間について示す欄があっても良いのではないか。
	10		6		10		10	
	水準		水準		水準		水準	
	8		5		5		1	
	合計		合計		合計		合計	
	18		11		15		11	
アンケート調査の実施	基準	・よく対応されている。	基準	・住民意識調査としてアンケートした点は妥当と思われる	基準	・細かいことですが、アンケート調査「まちづくりに関する若い世代へのアンケート」について、QRコード付きのチラシを何枚配ったのか、気になりました。	基準	・転入・転出者の届出をする人へのアンケートについて、一般的に転入・転出は個人的な理由によるものが多いと考えられるため、アンケートの実施自体が妥当なものであったのか不明である。（上記評価項目には実施の妥当性という評価項目がないため、本評価の対象にならない可能性も理解した上でのコメント。）※各調査適切な期間があるので、望ましい水準の「調査期間が2週間以上あるのか」という基準は必要ないのではないか？
	10		7		10		7	
	水準		水準		水準		水準	
	9		7		6		6	
	合計		合計		合計		合計	
	19		14		16		13	
ワークショップ	基準	・よく対応されている。	基準	・市民意見交換会を開催した（4回）点は妥当であると思う。	基準	・ワークショップについて特にコメントはありません。	基準	・その他の方法で周知されていることが評価できた。 ・従来のワークショップの開催と比較して、重点的に広報した層が参加しているかどうか評価し、効果的な周知方法を探る材料ができたのではないか。※評価シートのワークショップ開催日に曜日を入れていただきたい。
	10		8		10		10	
	水準		水準		水準		水準	
	9		7		8		10	
	合計		合計		合計		合計	
	19		15		18		20	

事業名：1 第2次まち・ひと・しごと創生総合戦略策定

委員氏名								平均	
総合評価点 上限(110点)	○	64点	◎	88点	◎	86点	○	70点	81.1
評価				・市民参加への各種取り組みはなされているが、そのフィードバックが参加者に十分伝わっていないのではないか。市民が積極的に市政への参加をしていくモチベーションを高める努力が必要と考えられる。		・本事業は、市民にとって身近で、関心の高い、重要なテーマである。アンケート、ワークショップは、事前に検討も十分になされたものと思われる。市民参加実施事業として高く評価。		・難しいのは分かるが、男女比を同じにする様にした方が良いと思う。 ・土・日や仕事終わりの夜でも会議ができれば女性の比率が上がると思う。	
質問						・審議会委員の金融機関の代表について詳細。また、必要性は。 ・一般市民の参加2名が最適人数ですか。少ないと思いませんか、応募者が高齢者8名をどう考えるか。 ・審議会委員の任期が3年間の根拠は。 ・任期3年、今後の審議会の開催は、現状新型コロナで難しいと思いますが、予定している議題から、どの程度予定しているか。 ・パブリックコメントは、市民参加が不調となった理由は何故と考えるか。		・アンケートをするなら、回収率は100%を目指すべき、渡して返ってくればラッキーではダメだと思う。	
評価項目	評点		評点		評点		評点		
実施した市民参加の数	15		15		15		15		15.0
選択した市民参加の手法	3		5		3		3		3.5
意見の取り扱い・公開方法	4		3		4		3		3.3
市民参加の取り組み・積極性	2		5		4		4		3.8
審議会の設置	基準		基準	・白井市の地区区分を考慮すると在来地区とニュータウン地区に大きく分かれる。ニュータウン地区も駅中心に3地区に分かれている事から、各地域代表の住民4名を選出するのが妥当だったのではないかと考える。2名枠に拘るのであれば在来、ニュータウン各1名とする事で地域での意識の相違も明確になったと考えられる。	基準	・身近な問題であり、審議会に於ける一般市民の参加をできるだけ多くすべきでないか？ ・任期が長い、本事業は継続して審議する議題より個別案件の議題が多いように思われ、任期を短くしても影響はないと思われる。任期を短くすれば、市民の参加もしやすくなり、応募者も増えると思う。 ・審議会の構成に工夫が必要。女性が少なく、且つ公募による一般市民は女性だけ。 ・新型コロナの影響もあり現状は難しいと思いますが、開催はできるだけ定期開催とし、3か月に1回程度は開催を望む。	基準	・3点数は付けたが、平日日中にこだわる必要があるのか？	基準
	5		7		9		6		7.6
	水準		水準		水準		水準		水準
	1		3		5		4		3.8
	合計		合計		合計		合計		合計
6		10		14		10		11.4	
パブリックコメント(意見公募)募集	基準		基準	・意見公募を事業終了直前に行っているが、本来は総合戦略(案)修正に組み込みが間に合う時期とする必要があった。	基準	・評価基準に於いては、基準をクリアして実施しているように思えるが、効果は無く、結果は評価できない。募集の方法、周知の方法、提供資料など、検討を要す。意見がない、ホームページのアクセスが少ないのはパブリックコメントの周知だけでなく、本事業の周知が十分でないともいえるのではないかと考える。	基準		基準
	9		8		6		5		8.0
	水準		水準		水準		水準		水準
	0		6		3		5		4.1
	合計		合計		合計		合計		合計
9		14		9		10		12.1	
アンケート調査の実施	基準		基準	・各種アンケートの結果が総合戦略(素案)に生かされたのか、住民への丁寧な説明が次の提案につながるかと考える。	基準	・アンケート、対象範囲も広く、回収率も高く、市民参加の結果として評価する。事前に十分な検討がなされたものと推察される。担当部署の市民参加に対する取り組み姿勢の積極さがうかがえる。	基準	・4.回収率が低すぎるので、上げる対策をした方がよい。	基準
	6		10		9		6		8.1
	水準		水準		水準		水準		水準
	3		8		8		5		6.5
	合計		合計		合計		合計		合計
9		18		17		11		14.6	
ワークショップ	基準		基準	・タウンミーティングに極力参加しているが、その時に提示された住民の意見の何がどの様に反映されたのかがよく判らない。意見反映について参加者にフィードバックされる事で、住民の意識も高まると考えられる。	基準	・ワークショップ実施に際して、周知の方法も、現状のツールに加え、保護者、商工会、自治会などへ行い結果も評価できるものとなっている。担当部署の市民にとって身近な、重要なテーマとの認識から市民参加への取り組みの積極性がうかがえる。	基準		基準
	8		9		10		7		9.0
	水準		水準		水準		水準		水準
	8		9		10		7		8.5
	合計		合計		合計		合計		合計
16		18		20		14		17.5	

事業名 1 第2次まち・ひと・しごと創生総合戦略策定

事業における市民参加の評価(A)

実施した市民参加の数【実施数×5点】 (上限15点)	15点	15点	15点	15点	15点	15点	15点	15.0点
選択した市民参加の手法について (上限5点)	4点	3点	3点	4点	3点	5点	3点	3.5点
意見の取り扱い・公表方法について (上限5点)	4点	2点	3点	3点	4点	3点	3点	3.3点
市民参加の取り組み・積極性について (上限5点)	4点	3点	4点	4点	2点	5点	4点	3.8点
合計	27点	23点	25点	26点	24点	28点	25点	25.5点

		吉井 信行			野口 洋子			加藤 洋平			竹内 彩乃			花山 克博			寄本 邦義			小川 明			佐々木 直美			平均			
		条例基準	加点水準	合計	条例基準	加点水準	合計	条例基準	加点水準	合計	条例基準	加点水準	合計	条例基準	加点水準	合計	条例基準	加点水準	合計	条例基準	加点水準	合計	条例基準	加点水準	合計	条例基準	加点水準	合計	
実施した市民参加手法の評価(B)	審議会																												
		公募委員の数・全体に占める割合	1	0	1	1	0	1	2	0	2	1	0	1	1	0	1	2	0	2	1	0	1	1	0	1	1.3	0.0	1.3
		選考基準・公募委員の男女比・地域の割合・募集方法	2	2	4	1	1	2	2	1	3	2	1	3	1	0	1	1	1	2	2	1	3	1	1	2	1.5	1.0	2.5
		会議の回数・時間帯	2	1	3	2	2	4	2	1	3	2	1	3	1	1	2	0	0	0	2	2	4	2	1	3	1.6	1.1	2.8
		事前周知の方法	2	1	3	1	1	2	2	1	3	2	0	2	1	0	1	2	1	3	2	1	3	1	1	2	1.6	0.8	2.4
		結果公表・取り扱い	2	1	3	1	1	2	2	1	3	2	1	3	1	0	1	2	1	3	2	1	3	1	1	2	1.6	0.9	2.5
	合計	9	5	14	6	5	11	10	4	14	9	3	12	5	1	6	7	3	10	9	5	14	6	4	10	7.6	3.8	11.4	
パブリックコメント (意見公募)		募集期間・提出方法	2	1	3	2	1	3	2	1	3	2	0	2	2	0	2	1	0	1	2	1	3	1	1	2	1.8	0.6	2.4
		提供資料	2	1	3	1	1	2	2	1	3	2	0	2	1	0	1	2	1	3	1	0	1	1	1	2	1.5	0.6	2.1
		提供場所	2	2	4	1	1	2	2	1	3	2	0	2	2	0	2	2	2	4	1	1	2	1	1	2	1.6	1.0	2.6
		事前周知の方法	2	2	4	1	1	2	2	1	3	2	1	3	2	0	2	2	2	4	1	1	2	1	1	2	1.6	1.1	2.8
		結果公表・取り扱い	2	2	4	1	1	2	2	1	3	2	0	2	2	0	2	1	1	2	1	0	1	1	1	2	1.5	0.8	2.3
		合計	10	8	18	6	5	11	10	5	15	10	1	11	9	0	9	8	6	14	6	3	9	5	5	10	8.0	4.1	12.1
アンケート調査 の実施		事前周知の方法	2	1	3	2	2	4	2	1	3	1	1	2	1	0	1	2	2	4	1	1	2	1	1	2	1.5	1.1	2.6
		調査方法・調査期間	2	2	4	1	2	3	2	2	4	1	2	3	2	2	4	2	2	4	2	2	4	1	2	3	1.6	2.0	3.6
		調査対象	2	2	4	2	1	3	2	1	3	1	1	2	1	0	1	2	2	4	2	2	4	2	1	3	1.8	1.3	3.0
		発送件数・回収件数・回収率	2	2	4	1	1	2	2	1	3	2	1	3	1	1	2	2	1	3	2	2	4	1	0	1	1.6	1.1	2.8
		結果公表・取り扱い	2	2	2	1	1	1	2	1	1	2	1	1	1	0	0	2	1	1	2	1	1	1	1	1	1.6	1.0	2.6
		合計	10	9	19	7	7	14	10	6	16	7	6	13	6	3	9	10	8	18	9	8	17	6	5	11	8.1	6.5	14.6
ワークショップ		開催場所・時間・回数	2	2	4	2	1	3	2	1	3	2	2	4	2	2	4	2	2	4	2	2	4	1	1	2	1.9	1.6	3.5
		資料の提供	2	2	4	1	2	3	2	2	4	2	2	4	1	2	3	2	2	4	2	2	4	1	2	3	1.6	2.0	3.6
		参加者の資格	2	2	4	2	2	4	2	2	4	2	2	4	2	2	4	2	2	4	2	2	4	2	2	4	2.0	2.0	4.0
		事前周知の方法	2	2	4	2	1	3	2	2	4	2	2	4	2	1	3	2	2	4	2	2	4	2	1	3	2.0	1.6	3.6
		結果公表・取り扱い	2	1	3	1	1	2	2	1	3	2	2	4	1	1	2	1	1	2	2	2	4	1	1	2	1.5	1.3	2.8
		合計	10	9	19	8	7	15	10	8	18	10	10	20	8	8	16	9	9	18	10	10	20	7	7	14	9.0	8.5	17.5
条例水準合計点		39			27			40			36			28			34			34			24			32.8			
望ましい水準合計点		31			24			23			20			12			26			26			21			22.9			
市民参加の手法合計点		70			51			63			56			40			60			60			45			55.6			
合計(A+B)		97			74			88			82			64			88			86			70			81.125			

事業名：2 第2期白井市子ども・子育て支援事業計画策定事業

委員氏名								
総合評価点 上限(90点)	△	53点	◎	76点	○	66点	△	54点
評価	<ul style="list-style-type: none"> • 一般的に条例基準にも望ましい水準にも達しておらず、市民参加という観点からは大いに改善を要する。 		<ul style="list-style-type: none"> • 働く子育て世代の市民が多く参加できるよう、土・日にする等の配慮が望まれる。 • あらゆる方法での情報公開が必要である。 		<ul style="list-style-type: none"> • 計画策定に向けて、3つの手法を使い問題なく市民参加ができたのではないかと思います。ただ、細かい点ですが、公募委員募集やパブコメ募集の事前周知方法について広報、HPだけでしたが、周知方法については十分であったのか、少し疑問に思いました。 		<ul style="list-style-type: none"> • 周知、結果の公表場所が統一されておらず、それぞれの市民が一貫して一つの計画を追うことが難しくなっているのではないかと。合理的に周知していくことは必要であるが、公表場所を限定するのであれば、その場所ではすべてのデータを見ることができるといふ形にすべきではないか。 	
質問	<ul style="list-style-type: none"> • 意見交換会などの直接的な民意の汲み取り方法などは検討されなかったのだろうか。 		<ul style="list-style-type: none"> • 今後の継続事業として具体的にどのような方向性であるのか、アンケートの結果報告や会議等の詳細をみさせていただき、確認させていただければと思います。 		<ul style="list-style-type: none"> • 細かい質問ですが公募委員の募集、パブコメの募集の事前周知方法として、広報とHPだけで十分だったでしょうか。他、各センターや図書館などで周知を考えませんでしたか。 		<ul style="list-style-type: none"> • 情報公開の場所を市民参加の方法によって変更している理由 • 第2回会議後に会議を開催せずに素案のパブリックコメントを実施した理由（委員に修正内容を確認するプロセスがあったのかどうか） • アンケートを小学校5年生、中学校2年生に限定した理由（アンケート調査の概要に書かれているのでしょうか？） 	
評価項目	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント
実施した市民参加の数	15		15		15		15	
選択した市民参加の手法	3		4		3		3	
意見の取り扱い・公開方法	2		4		3		3	
市民参加の取り組み・積極性	2		4		3		3	
審議会の設置	基準	<ul style="list-style-type: none"> • 1.公募委員の割合が低い(16.7%) • 4.5ともに条例基準を満たしていない。 	基準	<ul style="list-style-type: none"> • 男性の育児参加が叫ばれる時代でもあり、男性の公募委員を女性の半数以上に増やしてみようか。 	基準	<ul style="list-style-type: none"> • 特にありません。 	基準	<ul style="list-style-type: none"> • 生活に密接に関わる事業にもかかわらず公募市民の割合が少ない。 • 会議録を子育て世代の利用が多い図書館や各センターでも公表すべきでないか • 第1回目でアンケート調査の結果を議論したことは評価できるが、第2回目で素案について話し合い、その反映結果を話し合うことなく、第3回目でパブリックコメントの結果報告が行われている。本来であれば、パブリックコメントを行う前に、今一度審議会を開催できるスケジュールにすべきであったのではないか。
	6		10		9		8	
	水準		水準		水準		水準	
	2		7		4		2	
	合計		合計		合計		合計	
8	17	13	10					
パブリックコメント(意見公募)募集	基準	<ul style="list-style-type: none"> • 2.4.5については条例基準を満たしていない。 	基準	<ul style="list-style-type: none"> • 図書館での告知は、わかりやすく掲示されていたか。 	基準	<ul style="list-style-type: none"> • 特にありません。 	基準	<ul style="list-style-type: none"> • 広く意見を集める上ではもう少し期間をとった方が良いのではないかと考えられる。 • 計画や条例の素案だけでなく、パブリックコメントの提出方法は最低限提示すべきである。
	7		10		9		8	
	水準		水準		水準		水準	
	4		6		5		2	
	合計		合計		合計		合計	
11	16	14	10					
アンケート調査の実施	基準	<ul style="list-style-type: none"> • 1.2.5については条例基準を満たしていない。 	基準	<ul style="list-style-type: none"> • 調査対象を就学前児童またその保護者、市立の小学5年生及び中学2年生その保護者とバラバラにアンケートを行った点は妥当とし評価する。 	基準	<ul style="list-style-type: none"> • 特にありません。 	基準	<ul style="list-style-type: none"> • アンケートの回収率を上げるための工夫を記述することで、他の担当課とのノウハウの共有につながるのではないかと？
	6		9		9		7	
	水準		水準		水準		水準	
	6		7		6		3	
	合計		合計		合計		合計	
12	16	15	10					

事業名：2 第2期白井市子ども・子育て支援事業計画策定事業

委員氏名									平均	
総合評価点 上限(90点)	△	45点	△	52点	△	53点	○	56点	56.9	
評価			<ul style="list-style-type: none"> • それなりの期間があったにも拘わらず、調査の幅も狭く、なにより討議の回数が少なく、議論が尽くされたのか疑問が残る。 		<ul style="list-style-type: none"> • 市民参加として評価できるのはアンケート調査のみである。一般市民にとって身近で、関心が高いテーマであるにもかかわらず、審議会の委員人数は、公益団体の代表者が多く、一般市民の参加は非常に少ない。 • 審議会委員の公募人数はさらに少なく、さらに任期が長いために応募する人数が少ない結果となったと推測される。特に子育て世代の参加は難しい任期である。 • パブリックコメントについて、自己評価しているが、意見は4名、5件で、ホームページのアクセスも少なく終わっており評価しがたい。 		<ul style="list-style-type: none"> • 子ども・子育て支援ならせめて、全ての学区から1人ずつ選出してほしかった。 			
質問					<ul style="list-style-type: none"> • 審議会の人員18名は、多いと思いますが、必要な人数ですか。 • 公益法人の代表者、行政機関等職員の詳細について教えてほしい。 • 任期3年、今後の審議会の開催は、現状新型コロナで難しいと思いますが、想定される議題から、どの程度予定しているか。 • パブリックコメントについて自己評価しているが何が評価できる点なのか。 		<ul style="list-style-type: none"> • アンケートはweb対応もできると便利だと思います。 			
評価項目	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント		
実施した市民参加の数	15		15		15		15		15.0	
選択した市民参加の手法	3		2		2		4		3.0	
意見の取り扱い・公開方法	3		1		3		4		2.9	
市民参加の取り組み・積極性	2		1		2		4		2.6	
審議会の設置	基準		基準	<ul style="list-style-type: none"> • 3年間で5回の会議で何が共通認識され結論づけられたのが疑問です。特にアンケート結果から素案に至る半年間に議論がなされていない点。 • 子育て支援であれば会議を平日日中だけとしている事で平日に働いている親の切実な意見を吸い上げる事にも問題があるのではないか。 • 問題を抱えている可能性の高い30代前半より若い世代の参加が無い事で、計画策定のバランスが崩れている疑念がある。 	基準	<ul style="list-style-type: none"> • 審議委員の人員が18名と多く、多いことで活発な議論が難しいのではないかと。 • 公益法人の代表者などの参加が多く、一般市民の参加が非常に少ない。従来の委員会に市民参加に関する評価に於いても一般市民の参加が少ないとの指摘があったと思われるが改善がなされていない。公益法人の代表者を参加させることが優先で一般市民の参加を抑えたのであれば問題。 • 従来の審議会から継続して参加している公益法人の代表者などが多く思われ、一般市民を交えた活発な論議は期待できないし、市民参加の役割も低く、市民参加の審議会として、評価できない。 	基準		基準	
	5		7		5		6			
	水準		水準		水準		水準			
	0		1		3		4			
	合計		合計		合計		合計			
	5		8		8		10		9.9	
パブリックコメント(意見公募)募集	基準		基準	<ul style="list-style-type: none"> • 評価基準に於いては基準をクリアして実施している点もあると思われるが結果は、意見も4名5件と少なく、ホームページへのアクセスが少ない評価できない。募集の方法、周知の方法、提供資料など検討の余地あると思われる。ホームページのアクセスが少ない理由は、パブリックコメントの周知だけでなく本事業の周知が不十分であったとも思う。 • 提供資料を置くだけでなく、人を介してPRするなど、また、提供する資料についても、意見取得するテーマをできるだけ絞って、分かり易い資料提供するなど検討する必要があると思う。 	基準	<ul style="list-style-type: none"> • アンケート実施につき事前に図書館だけでなく広報しろい、ホームページなどで詳細ではなく簡単に報告周知が望ましい。 • 結果の公表があまりにも遅すぎた。何か特別な理由があるとも思えない。 	基準		基準	
	6		8		7		5			
	水準		水準		水準		水準			
	1		6		3		5			
	合計		合計		合計		合計			
	7		14		10		11.5			
アンケート調査の実施	基準	<ul style="list-style-type: none"> • アンケートを2つの学年に限っているが、小学・中学共に低学年と高学年では状況が違っていると予想されるので、4学年程度まで幅があった方が良かったのではないかと。 	基準	<ul style="list-style-type: none"> • アンケート実施につき事前に図書館だけでなく広報しろい、ホームページなどで詳細ではなく簡単に報告周知が望ましい。 • 結果の公表があまりにも遅すぎた。何か特別な理由があるとも思えない。 	基準		基準		基準	
	5		6		7		4			
	水準		水準		水準		水準			
	5		5		6		5			
	合計		合計		合計		合計			
	10		11		13		9		12.0	

事業名 2 第2期白井市子ども・子育て支援事業計画策定事業

事業における市民参加の評価(A)

実施した市民参加の数【実施数×5点】 (上限15点)	15点	15点	15点	15点	15点	15点	15点	15.0点
選択した市民参加の手法について (上限5点)	3点	4点	3点	3点	3点	2点	4点	3.0点
意見の取り扱い・公表方法について (上限5点)	2点	4点	3点	3点	3点	1点	4点	2.9点
市民参加の取り組み・積極性について (上限5点)	2点	4点	3点	3点	2点	1点	4点	2.6点
合計	22点	27点	24点	24点	23点	19点	27点	23.5点

実施した市民参加手法の評価(B)

	吉井 信行			野口 洋子			加藤 洋平			竹内 彩乃			花山 克博			嵯本 邦義			小川 明			佐々木 直美			平均				
	条例基準	加点水準	合計	条例基準	加点水準	合計	条例基準	加点水準	合計	条例基準	加点水準	合計	条例基準	加点水準	合計	条例基準	加点水準	合計	条例基準	加点水準	合計	条例基準	加点水準	合計	条例基準	加点水準	合計		
審議会	公募委員の数・全体に占める割合	1	0	1	2	0	2	2	0	2	1	0	1	1	0	1	2	0	2	0	0	0	1	0	1	1.3	0.0	1.3	
	選考基準・公募委員の男女比・地域の割合・募集方法	1	0	1	2	2	4	1	1	2	2	1	3	1	0	1	2	1	3	0	0	0	1	1	2	1.3	0.8	2.0	
	会議の回数・時間帯	2	1	3	2	2	4	2	1	3	2	1	3	1	0	1	1	0	1	1	1	2	2	1	3	1.6	0.9	2.5	
	事前周知の方法	1	0	1	2	1	3	2	1	3	1	0	1	1	0	1	1	0	1	2	1	3	1	1	2	1.4	0.5	1.9	
	結果公表・取り扱い	1	1	2	2	2	4	2	1	3	2	0	2	1	0	1	1	0	1	2	1	3	1	1	2	1.5	0.8	2.3	
	合計	6	2	8	10	7	17	9	4	13	8	2	10	5	0	5	7	1	8	5	3	8	6	4	10	7.0	2.9	9.9	
パブリックコメント (意見公募)	募集期間・提出方法	2	1	3	2	2	4	2	1	3	2	0	2	2	0	2	2	1	3	2	1	3	1	1	2	1.9	0.9	2.8	
	提供資料	1	0	1	2	1	3	2	1	3	1	0	1	1	0	1	2	1	3	1	1	2	1	1	2	1.4	0.6	2.0	
	提供場所	2	2	4	2	1	3	2	1	3	2	2	4	1	1	2	2	2	4	2	1	3	1	1	2	1.8	1.4	3.1	
	事前周知の方法	1	1	2	2	1	3	1	1	2	1	0	1	1	0	1	1	1	2	1	0	1	1	1	2	1.1	0.6	1.8	
	結果公表・取り扱い	1	0	1	2	1	3	2	1	3	2	0	2	1	0	1	1	1	2	1	0	1	1	1	2	1.4	0.5	1.9	
	合計	7	4	11	10	6	16	9	5	14	8	2	10	6	1	7	8	6	14	7	3	10	5	5	10	7.5	4.0	11.5	
アンケート調査 の実施	事前周知の方法	0	0	0	2	2	4	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.4	0.4	0.8
	調査方法・調査期間	1	2	3	2	2	4	2	2	4	2	2	4	1	2	3	2	2	4	2	2	4	1	2	3	1.6	2.0	3.6	
	調査対象	2	1	3	2	1	3	2	1	3	2	0	2	1	1	2	1	1	2	2	2	4	1	1	2	1.6	1.0	2.6	
	発送件数・回収件数・回収率	2	2	4	2	1	3	2	1	3	2	1	3	2	2	4	2	2	4	2	2	4	1	1	2	1.9	1.5	3.4	
	結果公表・取扱い	1	1	2	1	1	2	2	1	3	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	1	2	1.1	0.5	1.6	
	合計	6	6	12	9	7	16	9	6	15	7	3	10	5	5	10	6	5	11	7	6	13	4	5	9	6.6	5.4	12.0	
条例水準合計点	19			29			27			23			16			21			19			15			21.1				
望ましい水準合計点	12			20			15			7			6			12			12			14			12.3				
市民参加の手法合計点	31			49			42			30			22			33			31			29			33.4				
合計(A+B)	53			76			66			54			45			52			53			56			56.875				

事業名:3 西白井地区コミュニティ施設整備事業

委員氏名								
総合評価点 上限(90点)	○	64点	○	62点	○	69点	○	62点
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・担当課の努力は理解できるが、「条例基準」未達も目立ち、市民参加の取り組みとしては物足りない。 		<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年に15名の市民を委員に委嘱し検討をされた。 ・約7年間にわたり比較検討された。よって適正であると評価される事業であると思われる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・審議会を16回、住民説明会も開き、市民と時間をかけて丁寧に議論して決定しようとしたことが理解できた。 		<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ施設整備事業であるため、施設を利用すると考えられる若い世代の意見を取り入れる必要がなかったのかという点について疑問である。ただし、西白井地区で説明会を行ったのは評価できる。 	
質問	<ul style="list-style-type: none"> ・公募委員を増やすことは考えられなかったのか。 		<ul style="list-style-type: none"> ・調理器具等はそろっているが、調理場は使いづらいという声も上げられている。その点改善されたかどうかまた、改善していく予算や方針はあるのか伺えたらと思います。 		<ul style="list-style-type: none"> ・細かい質問ですが、地区説明会の開催にあたり、事前周知の方法として、広報と情報公開コーナーのみでしたが、地元自治会などの組織を通じて説明会の周知を行ったなどあるでしょうか。 		<ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントについて、一人当たりの質問数が多いのは何故か？ 	
評価項目	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント
実施した市民参加の数	15		15		15		15	
選択した市民参加の手法	3		3		3		4	
意見の取り扱い・公開方法	3		2		3		3	
市民参加の取り組み・積極性	2		2		3		3	
審議会の設置	基準	<ul style="list-style-type: none"> ・1.公募の割合が低いのでは。 ・2.4については条例基準を満たしていない。 	基準	<ul style="list-style-type: none"> ・審議会の任期、妥当であると評価できる。 ・委員の人数に比べ市民公募の人数が少ない。 	基準	<ul style="list-style-type: none"> ・特にありません。 	基準	<ul style="list-style-type: none"> ・議事録を西白井地区のセンターに置くともっと多くの市民の目に触れたのではないか？ ・コミュニティ施設を利用する可能性のある若い世代の意見を取り入れるため、無作為抽出型の市民を入れる必要はなかったのか？ ※公募市民のみの情報であるが、その他の委員の年齢分布も知りたい。
	7		10		10		8	
	水準		水準		水準		水準	
	5		6		5		3	
	合計		合計		合計		合計	
12	16	15	11					
パブリックコメント(意見公募)募集	基準	<ul style="list-style-type: none"> ・2.4については条例基準を満たしていない。 	基準	<ul style="list-style-type: none"> ・募集期間が多少短いように思われる。(20日間くらい) 	基準	<ul style="list-style-type: none"> ・特にありません。 	基準	
	8		7		10		9	
	水準		水準		水準		水準	
	6		5		5		5	
	合計		合計		合計		合計	
14	12	15	14					
その他の方法	基準	<ul style="list-style-type: none"> ・3.4については条例基準を満たしていない。 	基準	<ul style="list-style-type: none"> ・説明会を地区説明会として開催したのは妥当であったと判断する。 	基準	<ul style="list-style-type: none"> ・特にありません。 	基準	<ul style="list-style-type: none"> ・西白井地区の方への説明会であれば、回覧版などで周知してもよかったのではないか。
	8		7		10		7	
	水準		水準		水準		水準	
	7		5		5		5	
	合計		合計		合計		合計	
15	12	15	12					

事業名:3 西白井地区コミュニティ施設整備事業

委員氏名									平均				
総合評価点 上限(90点)	△	47点		◎	81点		○	67点		○	55点		63.4
評価		<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民を組み入れた多数回の討議が行われており、住民参加型の典型的な事業と言える。公表方法に若干不足があり点数が下がったが、市民を取り組む取り組みとしては良くなされたと言える。 			<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、特に地元市民にとって身近で非常に関心が高いものであり、その点十分に勘察し実施した市民参加の取り組みは評価できるものである。 ・審議会に委員の人員に関し、公募による委員は少なくも感じるが大半地元住民(一般市民)で構成されており十分に市民参加の審議会となっている。 ・コミュニティ施設建設という、長期事業の為に公募委員の任期も5年と長く設定したため、応募者も非常に少なく、高齢者のみとなっている点、工夫が必要であった。 			<ul style="list-style-type: none"> ・地区の事なので、毎回の出席率が良い他の事業もこのくらい参加すれば良いものが出ると思う。 					
質問					<ul style="list-style-type: none"> ・審議会の委員、関係地域住民の代表者の選定はどのように実施したのか。 ・審議会の委員は全て任期期間中同一人物なのか ・審議会の開催が定期で行われ、開催期間もコンスタントに開催できたのは何故ですか。 			<ul style="list-style-type: none"> ・委員の男女比がかたよっているのが気になる。 					
評価項目	評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント		
実施した市民参加の数	15			15			15			15			15.0
選択した市民参加の手法	3			5			4			3			3.5
意見の取り扱い・公開方法	3			4			4			4			3.3
市民参加の取り組み・積極性	3			5			3			4			3.1
審議会の設置	基準			基準	<ul style="list-style-type: none"> ・西白井地区は大山口小学校区と七次台小学校区に2分されており、公募委員は大山口、七次台の2地区から選出するのが妥当ではなかったのか。 		基準	<ul style="list-style-type: none"> ・委員の任期が長いため、公募の応募者が非常に少なく、高齢者のみとなった。施設建設の進捗過程で、第1次、第2次、第3次など事業振り分けて任期を短くすることができなかったか。 ・審議会が定期でコンスタントに開催されていた。本来の審議会のあり方であり評価する。 		基準	<ul style="list-style-type: none"> ・委員の男女比 		基準
	6			9			10			5			8.1
	水準			水準			水準			水準			水準
	1			7			5			4			4.5
	合計			合計			合計			合計			合計
7			16			15			9			12.6	
パブリックコメント(意見公募)募集	基準			基準			基準	<ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントの意見者が4名と少ない、人を介してPRしてもらうなど意見取得の方策の工夫が必要と思われる。 ・地元市民にとって身近で関心の高い事業であり、担当部署による取り組みによる周知も十分で、パブリックコメントの募集がきっかけとなり、ホームページでの確認が増えたものと推察される。 		基準			基準
	9			9			10			5			8.4
	水準			水準			水準			水準			水準
	2			9			5			5			5.3
	合計			合計			合計			合計			合計
11			18			15			10			13.6	
その他の方法	基準			基準			基準	<ul style="list-style-type: none"> ・基本設計の内容等の説明会、小学校で1回実施された。何回開催すればよいかの判断はつかないが数回必要ではなかったか。また、説明会の開催周知に、地元自治会等開催案内など配布しての取り組みなどがあっても良かったと思う。 		基準			基準
	5			9			7			5			7.3
	水準			水準			水準			水準			水準
	0			9			4			5			5.0
	合計			合計			合計			合計			合計
5			18			11			10			12.3	

事業名 3 西白井地区コミュニティ施設整備事業

事業における市民参加の評価(A)

実施した市民参加の数【実施数×5点】 (上限15点)	15点	15点	15点	15点	15点	15点	15点	15.0点
選択した市民参加の手法について (上限5点)	3点	3点	3点	4点	3点	5点	4点	3.5点
意見の取り扱い・公表方法について (上限5点)	3点	2点	3点	3点	3点	4点	4点	3.3点
市民参加の取り組み・積極性について (上限5点)	2点	2点	3点	3点	3点	5点	4点	3.1点
合計	23点	22点	24点	25点	24点	29点	26点	24.9点

実施した市民参加手法の評価(B)		吉井 信行			野口 洋子			加藤 洋平			竹内 彩乃			花山 克博			寄本 邦義			小川 明			佐々木 直美			平均		
		条例基準	加点水準	合計	条例基準	加点水準	合計	条例基準	加点水準	合計	条例基準	加点水準	合計	条例基準	加点水準	合計	条例基準	加点水準	合計	条例基準	加点水準	合計	条例基準	加点水準	合計	条例基準	加点水準	合計
審議会	公募委員の数・全体に占める割合	1	0	1	2	0	2	2	0	2	2	0	2	1	0	1	2	0	2	2	0	2	1	0	1	1.6	0.0	1.6
	選考基準・公募委員の男女比・地域の割合・募集方法	1	1	2	2	2	4	2	1	3	1	0	1	1	0	1	2	2	4	2	1	3	1	1	2	1.5	1.0	2.5
	会議の回数・時間帯	2	2	4	2	2	4	2	2	4	2	2	4	2	1	3	2	2	4	2	2	4	1	1	2	1.9	1.8	3.6
	事前周知の方法	1	1	2	2	1	3	2	1	3	2	1	3	1	0	1	1	1	2	2	1	3	1	1	2	1.5	0.9	2.4
	結果公表・取り扱い	2	1	3	2	1	3	2	1	3	1	0	1	1	0	1	2	2	4	2	1	3	1	1	2	1.6	0.9	2.5
	合計	7	5	12	10	6	16	10	5	15	8	3	11	6	1	7	9	7	16	10	5	15	5	4	9	8.1	4.5	12.6
パブリックコメント (意見公募)	募集期間・提出方法	2	1	3	2	1	3	2	1	3	2	1	3	2	0	2	2	2	4	2	1	3	1	1	2	1.9	1.0	2.9
	提供資料	1	2	3	1	1	2	2	1	3	2	0	2	2	1	3	2	2	4	2	1	3	1	1	2	1.6	1.1	2.8
	提供場所	2	2	4	1	1	2	2	1	3	2	2	4	2	1	3	2	2	4	2	1	3	1	1	2	1.8	1.4	3.1
	事前周知の方法	1	0	1	1	1	2	2	1	3	1	1	2	1	0	1	1	1	2	2	1	3	1	1	2	1.3	0.8	2.0
	結果公表・取り扱い	2	1	3	2	1	3	2	1	3	2	1	3	2	0	2	2	2	4	2	1	3	1	1	2	1.9	1.0	2.9
	合計	8	6	14	7	5	12	10	5	15	9	5	14	9	2	11	9	9	18	10	5	15	5	5	10	8.4	5.3	13.6
その他の方法	開催場所・時間・回数	2	2	4	2	1	3	2	1	3	2	2	4	1	0	1	2	2	4	1	1	2	1	1	2	1.6	1.3	2.9
	参加者の資格	2	2	4	1	1	2	2	1	3	1	0	1	1	0	1	2	2	4	1	0	1	1	1	2	1.4	0.9	2.3
	事前周知の方法	1	0	1	1	1	2	2	1	3	1	0	1	1	0	1	1	1	2	1	0	1	1	1	2	1.1	0.5	1.6
	結果公表・取り扱い	1	1	2	1	1	2	2	1	3	1	1	2	1	0	1	2	2	4	2	1	3	1	1	2	1.4	1.0	2.4
	市民参加の内容	2	2	4	2	1	3	2	1	3	2	2	4	1	0	1	2	2	4	2	2	4	1	1	2	1.8	1.4	3.1
	合計	8	7	15	7	5	12	10	5	15	7	5	12	5	0	5	9	9	18	7	4	11	5	5	10	7.3	5.0	12.3
条例水準合計点	23			24			30			24			20			27			27			15			23.8			
望ましい水準合計点	18			16			15			13			3			25			14			14			14.8			
市民参加の手法合計点	41			40			45			37			23			52			41			29			38.5			
合計(A+B)	64			62			69			62			47			81			67			55			63.375			

令和 2 年度市民参加推進会議のスケジュール及び 会議の進め方について

1) 答申のまとめまでの各回の議題と審議内容

日 程	議題と審議内容（案）
第 1 回：9 月 1 7 日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委嘱状の交付 ・ 市民参加推進会議委員の職務について ・ 会長・副会長の選任について ・ 市民参加について ・ 市民参加条例について
第 2 回：1 0 月 1 3 日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 答申書の作成手順について ・ 総合的評価について ・ 模擬評価 評価方法の説明
第 3 回：1 2 月 8 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 31 年度市民参加の実施状況に対する総合的評価 (終了事業 3 事業) ①第 2 次まち・ひと・しごと創生総合戦略策定 ②第 2 期白井市子ども・子育て支援事業計画策定事業 ③西白井地区コミュニティ施設整備事業
第 4 回：1 月 2 7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 担当課ヒアリング 3 事業 ・ 平成 31 年度市民参加の実施状況に対する総合的評価
第 5 回：2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合的評価の確認について ・ 答申書の提言事項に対する検討
第 6 回：3 月	答申書の確認
3 月	・ 市長に答申書提出

※ 会議の進行具合によっては審議内容が前後する場合があります。

2) 令和 2 年度市民参加推進会議の進め方について

(1) 会議運営について

- ・ 発言の際は挙手による発言をお願いします。
- ・ 議事録は逐語録と概要録を併せて作成し、委員名を伏せたうえで概要録を公開します。
- ・ 会議録は市 HP、情報公開コーナー、図書館等で公開します。

(2) 答申の公表について

- ・ 市民参加推進会議で検討した答申は、市民に対して広報します。
- ・ 広報しろい・情報公開コーナー・市 HP・図書館で公表します。